

次回の議会は…



6/2(金) 午前9時から開会予定！
6月定例会への請願・陳情の提出
期限は5/25(木)まで！

議会を傍聴できます！

どなたでも傍聴可能です。
2階の議場の入り口にて
受付をしております。
お気軽にお越しください。



テレビで議会を観てみませんか？



ケーブルテレビCCNC
6/10(土)・24(土) 午前9時から
放送予定！

傍聴のご案内



手話通訳者・要約筆記者の申請方法も掲載しております。

今、これが聞きたい！
議員が町政について自由に質問
質問には会派代表の質問と、個人の質問があります。

3月6日・8日

14人の議員が質問

Q 10年、20年先のまちは

A 「住みたいまち」へ

A ハードとソフトの両面が

Q 災害に強いまちづくりに
対する考えは。

Q 災害に強いまちづくりに
対する考えは。
A 大規模修繕だけでなく、
施設の複合化や統合を含め
た公共施設の再編について
検討する。令和5年度には、
「武豊町公共施設等総合管理
計画」の見直しを行う。民
間のノウハウの活用が可能
性も視野に、公共施設サー
ビスの向上、事業の効率化
を目指していく。



Q 公共施設再構築に対する
考えは。
A 将来を見据えた各種計画
の具現化に努め、一人でも
多くの人に「住みよいから
住みたいまち」と思っても
らえるよう、皆様の声に耳
を傾け、あるべきまちの姿
を追求していく。

全ての町民の皆様が幸
せに暮らしていけるこ
とを願って。



みらい
森田 義弘

Q 本町の人口減少に対して
の考えは。

A 人口減少の波は、本町に
おいても避けられない状況。
「第6次武豊町総合計画」に
掲げる目標人口43,700
人の維持を目指していく。

ら防災施策を進めることで
災害に強く、安全・安心に
暮らせるまちを目指してい
く。

Q 10年、20年先を見据えた
まちづくりへの考えは。

A 将来を見据えた各種計画
の具現化に努め、一人でも
多くの人に「住みよいから
住みたいまち」と思っても
らえるよう、皆様の声に耳
を傾け、あるべきまちの姿
を追求していく。

Q 名鉄を高架にする考えは

A 引き続き調査・研究していく

武豊北インターチェンジ（仮称）が供用開始されれば、さらに渋滞することが予測される。



きずな
青木 宏和

Q 本町で渋滞が確認されている場所は。

A 渋滞が発生していると思われる箇所は、11か所ある。

交差点として、前田交差点、上ヶ駅北交差点、武豊平井畑交差点、堀川新橋北交差点、富貴駅東交差点である。

次に、名鉄河和線の踏切部で、2級河川石川北の踏切、上ヶ駅北の踏切、知多武豊駅北の踏切、富貴駅南の踏切である。

最後に、JR線の踏切部で、前田交差点の東の踏切、石川病院前の踏切である。

Q 渋滞対策として、知多武豊駅から2級河川石川北まで名鉄を高架にする考えは。

A 武豊町で鉄道高架事業を実施する場合、愛知県が事業主体となり実施することになる。

愛知県による事業実績として

は11か所あり、そのすべてが町ではなく市の区域となっており、事業化されることは困難な状況であると思われる。

また、公共施設の再編、維持管理や老朽化への対策費用、更には各種扶助費の増加などが見込まれることから、全体的なまちづくりのバランスを考えていく必要がある。

鉄道高架事業の、大きなメリットは認識しており、今後も引き続き、調査・研究していきたいと考えている。



▲渋滞時の名鉄上ヶ駅周辺

Q 新年度予算の町長のおもいは

A 町民の心が温まるような予算

増収分を有効活用し、勢いよく、まちが発展していくことを期待。



政和クラブ
大岩 保

Q 町長の新年度予算についてのおもいは。

A 令和5年度は「誰一人取り残すことのない」SDGsの精神を基軸として、第6次総合計画を具現化するための予算編成とした。

令和5年度予算編成にあたり、キーワードとした「勢」に込めた想いとして町民の皆様の絆が勢いよく深まり、生活や活動が生氣に満ち、安定・安心して暮らすことのできるまちづくりを進めてまいりたいとの想い。

また「安全・安心」「環境」「あらゆる世代の暮らしやすさの向上」「定住先として選択されるまち」そして「絆予算」の5点の施策を通して「地域の絆」が深まり「町民の心」が温まるような、そんな気持ちを込めた予算であると感じていただきたい。

今後も、刻一刻と変化する

社会経済情勢に注視し、住民ニーズを的確に捉え、新規の事業の必要性や着手時期を慎重に見極め、資金調達など、あらゆる面で工夫することにより、将来にわたり、安定的な財政運営を堅持していく。

そして、まちの将来像である「心つながみんなでつくるスマイルタウン」の具現化に向けて、各種の施策を積極的に展開していく。



Q 保育料・給食費の無償化を

A 現行どおり進める

Q 現在、4・5歳児は、園児30人に1人の保育士、3

A 保育園の保育料・主食費などへの対応については、国の基準に基づいて実施しており、今後も国の基準を継続していく。

Q 園児を対象とした、保育料、主食費、給食費の無償化または減額を求めますが、どのように対応されますか。

A 国が行わなければ、住民福祉の観点から自治体が行うことが必要である。

軍事費については、具体的に計画を示したが、少子化については、具体策を示さず、6月の「骨太方針」までに示すとした。

岸田文雄首相は「施政方針」演説で、いま取り組むべき重要課題として、軍備の増強と少子化対策を強調した。

A 園児数の減少が続いており、国の基準より保育士は手厚く配置されている。現行の基準を維持する。

歳児は園児20人に1人の保育士配置となっている。現行の定員では安全性が確保されない。定員を削減されたい。



Q 多賀授産所の建替えの考えは

A 前向きに検討する

Q 身体障がい者対象のグループホームが少ない理由は何か。

A 指定管理者の意向も踏まえ、必要な設備を把握しながら、順次整備に向けた調整を進めてまいりたい。

Q 障がい事業所が緊急時の受入れ先として期待されている中、多賀授産所の設備を整備するお考えは。

A 必要に応じて、ホームヘルパーによる家事援助や入浴・排泄・食事介助。住宅改修の費用助成。相談支援専門員が希望や状況に適した支援につなげていく。

厚生労働省は「親亡き後」障がい者が安心して生活できる支援体制の構築を行っている。

A 多賀授産所は、昭和58年に開所し、築40年が経過している。老朽化による不具合については、修繕工事など随時対応している。トイレの不足については、利用者に合わせて充実を図るべき課題の一つであると認識している。

Q 多賀授産所の老朽化やトイレ不足など、現状をどのように認識されていますか。

A 多数の方が集まるグループホームでは、障がいの状況に合わせた施設の配慮が難しい。

Q 身体障がいのある方が安心して地域で生活できる支援は、何がありますか。



▲整備が望まれる多賀授産所



公明党議員団
甲斐百合子

Q 多賀授産所の老朽化やトイレ不足など、現状をどのように認識されていますか。

Q 迷い人捜索に見守りシールは

A シールの導入について検討

認知症に伴う行方不明を防ぎ、安心して暮らせる地域づくりは重要なまちづくりのひとつ！



公明党議員団
鳥居 美和

Q 認知症支援体制の今後の取り組みは。

A 認知症の正しい理解をより広く地域の方に伝えるため9月頃に大規模な講演会の開催を考えている。講師として、認知症の当事者で、愛知県から任命された「愛知県認知症希望大使」を要望する予定。「認知症とともに生きるまちづくり」に取り組んでまいりたい。

Q 認知症迷い人 SOS 情報 ネットワーク事業に認知症サポーターの活用は。

A 令和5年度予定の「迷い人捜索訓練」では、認知症サポーターの方の協力も検討したい。

Q 阿久比町では「おかえりサポートシール」がある。これは、高齢者の特徴や緊急連絡先をQRコードにし



たシールを配布。シールを衣服や杖などに貼ることで、迷い人が発見された時、QRコードを読み取り、発見者と家族が連絡を取り合うことができる。本町では見守りシールを導入する考えは。

A 「迷い人捜索訓練」などにおいて、捜索の流れなどを確認しながら、合わせてシールの導入も検討を進めたいと、考えている。

Q 高齢者への支援が大事な視点

A 社会情勢に応じた支援を判断

物価高騰が継続中の今、高齢者への経済的支援と、小中学校給食費に再無償化支援を！



無会派
本村 強

諸物価高騰の中、高齢者をはじめ、子育て世帯など多くの住民が悲鳴を上げている。

Q 今後も物価高騰が予想される中で、町独自の施策は。

A ①子育て世帯への支援策として学校給食費の材料費高騰分の支援。(材料費高騰に伴う値上げ分は町で負担)

②営農者への支援として、高騰が続く農業生産資材に係る経費の一部を支援。

Q 高齢者支援については検討されたのか。

A 今後の情勢の変化に応じた支援を判断していく。

Q 先に行った小中学校給食費の3か月間無償化は大変喜ばれた施策であった。物価高騰が続く中、しばらく

継続すべきではないか。

A 国の交付金を活用し、給食費材料における物価高騰分の公費負担および無償化を実施したが、単独では大きな財政負担となる。令和5年度予算では、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、給食費の値上げをしないように高騰分を公費負担として予算計上している。



▲高騰している給食材料

Q 適応指導教室の設置状況は

A 指導員の増員を検討する



みらい 櫻井 雅美

指導員不足のため適応指導教室のない学校がある。増員して対応してほしい！

Q 適応指導教室の利用を希望した保護者から、設置していない学校があると伺っていますが、どのような対応になっていますか。

A 本町では学校内、学校外にそれぞれ設置しています。

このうち学校内の指導員は、2中学校に1名ずつ、小学校に1名が4小学校を巡回している。

指導員が巡回しない日は、時間割が空いている教員や校長を含む4役が対応している。

今後4小学校すべてにおいて必要性が増し、1名の対応では困難が予測される。

このため、令和5年度中の早い時期に、適切な対応がとれるよう、前向きに検討する。

Q 令和5年度の予算には計上されていないが、補正予算で対応するという認識で

よろしいですか。

A そのように対応する。

Q 不登校児が自宅でITなどを活用して行った学習活動は、一定の条件を満たす場合、出席扱いとすることができるとどのように対応していますか。

A 調べたところ、町外では出席扱いにしている事例もあるとお聞きしている。できる限り柔軟に対応していく。



Q 区への加入促進の打開策は

A 新たに補助制度を創設する



みらい 福本 貴久

区の活動が活発になることにより、ひいては武豊町の更なる発展にも繋がる。

Q 区および加入している世帯へ、町からの支援は、どのようなものがあるか。

A 区に対しての支援として、令和3年度から各区に、役場事務委託料の世帯割り額の増額、またゴミ集積所の管理活動報償金の交付をしている。加入世帯に対しては「資源用指定ごみ袋」の配布をしている。

区独自の活動に対する補助金などとして、自主防災活動事業補助金、地区公民館等補助金、地区公民館等施設整備補助金、文化財補助金、子供の遊び場補助金、地域活動推進交付金の支援を行っている。

Q 区への加入を促進するために、町としてできる打開策は。

A 令和5年度から新たに「三世代同居等促進補助金」

を創設し、区への加入の促進に繋げたいと考えている。

子育て・介護における負担や不安を軽減する取り組みとして、三世代同居や三世代同居をしようとする世帯を支援するものである。子育て世代の定住と地域活性化を図るための事業として、(補助限度額を30万円)区への加入を補助要件とする。とで、区加入への誘導策とする。

三世代同居等促進補助金 補助限度額：30万円



Q 武豊北インター供用開始は

A 令和6年8月末を目標!!

Q 武豊北インターチェンジ（仮称、以下武豊北インター）の進捗状況、また供用開始時期はいつ頃になるか。

A 令和5年1月末時点の工事の進捗率は、事業費ベースで58%。供用開始時期は、令和5年3月末の予定から、用地取得の遅れなどの理由により、令和6年8月末を目標に取り組んでいます。

Q 武豊北インターの開業にあたりどのような影響があると考えているか。

A 町北部地域をはじめ、本町全体において広域交通の利便性が向上する。
・インターチェンジ周辺地域のポテンシャルが高まることで、都市的土地利用等につながる可能性が高まる。
・インターチェンジ周辺地域だけでなく、接続する幹

武豊町の玄関口として武豊町内の良さが分かりやすいインター周辺にしていきたい。



政和クラブ
南賢治



▲ IC 南側より一部

線道路の沿線などにおいて、新たな土地利用が図られ、地域が活性化することで、大きな経済効果に繋がっていくと考えている。

Q 周辺道路への渋滞対策は。

A 渋滞が予想される交差点3箇所に右折矢印信号の設置を、愛知県公安委員会及び半田警察署長へ武豊北インターの供用開始までに設置されるよう要望している。

Q 高齢者へのごみ出し支援は

A 福祉的な支援をしている

高齢化社会が進み、高齢者に対するごみの搬出ルールや方法を見直す時期では。



きずな
鈴木 一也

Q 武豊北インターの開業にあたりどのような影響があると考えているか。

A 認知機能の低下などで、ごみの分別が不安な高齢者世帯には、地域包括支援センターがお身体の状態や生活環境などを伺い、適切なサービスを案内している。介護保険などでは、ヘルパーにより、また「たけとよ

Q 武豊北インターの開業にあたりどのような影響があると考えているか。

A 町北部地域をはじめ、本町全体において広域交通の利便性が向上する。
・インターチェンジ周辺地域のポテンシャルが高まることで、都市的土地利用等につながる可能性が高まる。
・インターチェンジ周辺地域だけでなく、接続する幹

Q 高齢者のごみ出し支援は、どのような支援をしているか。

A 見守りを兼ねた、ごみ収集のサービスとして「高齢者世帯見守り収集支援事業」がある。対象は、一人暮らし高齢者、高齢者のみの世帯のうち、ごみ出しが困難な家庭。令和5年2月末現在の利用数は42世帯あり、収集はシルバー人材センターに依頼している。



▲ 地域で助け合おう

Q 武豊北インターの開業にあたりどのような影響があると考えているか。

A 町北部地域をはじめ、本町全体において広域交通の利便性が向上する。
・インターチェンジ周辺地域のポテンシャルが高まることで、都市的土地利用等につながる可能性が高まる。
・インターチェンジ周辺地域だけでなく、接続する幹

Q 高齢者のごみ出し支援は、どのような支援をしているか。

A 見守りを兼ねた、ごみ収集のサービスとして「高齢者世帯見守り収集支援事業」がある。対象は、一人暮らし高齢者、高齢者のみの世帯のうち、ごみ出しが困難な家庭。令和5年2月末現在の利用数は42世帯あり、収集はシルバー人材センターに依頼している。

今後、本町の実情に適した、ごみの収集体制について、先進自治体の状況も合わせ、調査研究していく。

Q 自宅への戸別収集は考えられないか。

A ごみ出しが、地域、特に高齢者の安否確認や会話の機会になっていると伺っている。

Q これからの学校給食は

A 新給食センターで課題に対応

令和8年9月、東大高保育園跡地に、新しい学校給食センターが開設されます。



政和クラブ
石川 義治

Q 食育についての対応は。

A 地場産物の活用や郷土料理メニューなどにより給食の充実を図るとともに、児童生徒が正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身につけ、食事を通じて自らの健康管理ができるよう、栄養教諭を中心に、取り組んでいく。

Q 食物アレルギーへの対応は。

A 児童生徒の食物アレルギー対応について検討するため、令和3年度「武豊町食物アレルギー対応委員会」を設置した。学校、給食センター、教育委員会が連携し、専門医などの協力も得ながら、細心の注意を払い、対応していく。

Q 昨年から続く食品価格上昇への対応は。



▲武豊たまりを使ったきしめん

A 子育て世帯の負担軽減を図るため、令和5年度の学校給食の材料費の価格上昇分は、町の負担にて、対応する。

Q 新しい学校給食センターの目指すべき姿は。

A 食育や食物アレルギー対応など、現在の課題に対応した学校給食センターとしたい。建て替えによるハード面の整備だけでなく、食育の推進など、ソフト面についても充実させていきたい。

Q 武豊町のCO₂削減目標は

A 2013年度比44%削減

CO₂削減目標達成には排出量の多い、企業の協力が必須である。



きずな
青木 信哉

Q 本町の温室効果ガスの排出量の特徴は。

A 平成29年度の状況で、産業部門が多くを占め76%、運輸部門が11%、家庭部門が7%、業務その他部門が5%。

Q 令和5年度に計画している施策は何か。

A 新規事業として「地域再生可能エネルギー導入計画」策定と砂川会館に太陽光発電設備の導入の実施設計を委託する。継続事業として「住宅用地球温暖化対策設備設置費補助金制度」「次世代自動車購入費補助金制度」を実施。その他、子どもと高齢者を対象とした環境に関する研修と啓発の開催、公用車1台をEV車へ更新、図書館の全館と富貴中学校および町民会館の一部の照明をLED化する。

Q 住民が楽しんで取り組めるような施策はあるか。

A 「あいちエコアクション・ポイント」事業があり、県内の店舗で環境に配慮した行動に取り組みすることでポイントを集め、抽選により賞品がもらえる事業がある。

ゼロカーボンシティの取り組みは、家計支出を減らす取り組みであることをPRして欲しい。

＜普段の行動＞		年間あたりのCO ₂ 削減量及び削減コスト	
夏は涼しい服装を着て自宅、職場は室温20℃で快適に 約42t-CO ₂ 約2,250円	水筒は常備して自宅、職場は室温20℃で快適に 約42t-CO ₂ 約2,250円	省電力LED照明の活用 1日1時間削減 約139t-CO ₂ 約6,720円	待機電力をカット 1日1時間削減 約57t-CO ₂ 約2,820円
エアコンは暖房・外出の30分にオフ 約32t-CO ₂ 約1,600円	エアコンは暖房・外出の30分にオフ 約32t-CO ₂ 約1,600円	フィルムはこまめに清掃 月に1-2回 約136t-CO ₂ 約6,600円	掃除機を仕切つて冷房・暖房稼働を減らす 8日に1回 約307t-CO ₂ 約14,340円
テレビ視聴時間を1日1時間削減 約9t-CO ₂ 約450円	テレビ視聴時間を1日1時間削減 約9t-CO ₂ 約450円	ノートパソコンの場合、1日1時間削減 約35t-CO ₂ 約1,750円	車のカーテンを育てる 夏場にカーテンやベランダを閉める 約129t-CO ₂ 約6,300円

▲住まいでできるCO₂削減行動

Q 共働き世帯が望む支援とは

A 安心できる子どもの預け場所

A 共働き家庭などの小学生を放課後児童支援員が預かる事業で、利用者は年々増加傾向にある。その対応策として、富貴、衣浦両児童クラブの定員増を予定している。

また、地域の方々の協力が得られれば、ボランティアによる活動を取り入れて



▲富貴児童クラブの様子

Q 児童クラブの役割と今後の需要と対応は。

法改正による令和6年度以降の子ども家庭センター設置に向け、支援体制の見直しなどを進めていく。

女性の就労世帯増の対応や、子どもの生活スタイルの変化に伴う対応策を問うた。



みらい
久野 勇

Q 子育て世代包括支援センターの役割は。

A 子育て世帯や妊産婦の相談窓口であり、保健師、保育士が2か所で相談支援している。コロナ禍により、オンラインでの相談も開始した。

Q 子ども会加入者の減少について原因と対応策は。

A 少子化に加え、子どもと保護者の生活スタイルの変化が原因と考えている。運営費の一部助成やチラシ配布で減少の歯止めを協力したい。「おいでん北山」や、「わいわい子ども広場in大足」などの取り組みは、様々な年齢層と交流でき、子ども会に代わる受け皿の一つとして参考になる。

いきたいと考えている。



未来に残すべき貴重な財産

武豊町文化財補助金交付要綱（一部抜粋）

有形文化財保存施設整備事業

旧交付要綱 補助対象経費の2分の1以内
限度額 475万円

令和5年
新交付要綱 補助対象経費の3分の2以内
限度額 750万円

※三井家住宅や山車など町指定文化財の修繕が対象



最近では木材の高騰など、文化財の修繕にも多額の費用がかかる。長期にわたり文化財を保存していくためにも「文化財補助金交付要綱」を見直す必要があると思うが考えは。（令和4年9月議会）

その後



改正から15年が経過し、物価も大きく変動しており、文化財を保護・保存していく立場としても、要綱を見直す時期に来ていると考えている。

町指定文化財に指定された「三井家住宅」とは

三井傳左衛門家は代々、尾張藩鳴海代官所直轄地である長尾村の庄屋を務め、文政5年（1822）には永代苗字と刀を賜り、登城を許されました。屋敷内には、尾張地方の民家の特徴である四つ建て形式の「主屋」を中心に「奥座敷」「南土蔵」「北土蔵」「表門」などが建てられています。

